

2024年8月30日

KHネオケム株式会社

(証券コード 4189、東証プライム)

KHネオケムグループの統合報告書、 「KH Neochem Report 2024～私たちが創る、サステナブルな未来。～」を発行

KHネオケム株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:高橋理夫)は、統合報告書「KH Neochem Report 2024～私たちが創る、サステナブルな未来。～」を発行し、当社ウェブサイトにて公開しました。

統合報告書 URL:<https://www.khneochem.co.jp/sustainability/annual-report/>



本報告書は、株主や投資家をはじめとするステークホルダーの皆様へ、当社グループを一層ご理解いただくため、企業理念や事業の全体像等についてわかりやすく紹介したものです。

私たちが、これまでの76年間で築き上げてきた価値観と企業行動との「結びつき」を示しながら、当社グループの事業が社会課題の解決にどのように貢献し、それと同時に、私たち自身がどのような「戦略や課題」に取り組み、持続的な企業価値の向上を目指しているかを、経営陣や多くの社員の「声」とともに説明しています。

当社グループは、“「化学の力」で、よりよい明日を実現する。”という企業使命のもと、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献するとともに、自らも持続的に成長していく「サステナブル経営」を推進しています。これからも、株主や投資家をはじめとするステークホルダーの皆様との建設的な対話を一層深めてまいります。

●「KH Neochem Report 2024～私たちが創る、サステナブルな未来。～」のポイント

1. 私たちの価値観と企業行動の「結びつき」

- ・企業理念の実践事例
- ・KH ネオケムのあゆみ

2. CxO と社外取締役が語る「戦略や課題」

- ・CEO、CFO メッセージ
- ・対談クロストーク 新谷取締役×土屋社外取締役
- ・価値創造の原動力(担当 CxO メッセージ)

3. 当社グループ役職員の「声」

- ・これまでと現在
- ・価値創造の原動力



【「KH Neochem Report 2024～私たちが創る、サステナブルな未来。～」の概要】

発行	和文:2024年8月 https://www.khneochem.co.jp/sustainability/annual-report/ ※英文:2024年11月公開予定
ページ数	92 ページ
対象期間	2023年1月～2023年12月 ※一部、2024年1月以降に実施した開示事項や事業活動の内容を含む。
対象組織	当社とグループ会社および関係会社
コンテンツ	<p><u>01 イントロダクション</u> 本レポートのポイントや当社の概要を分かりやすくお伝えします。</p> <p><u>02 これまでと現在</u> 事業の全体像や強みについて、これまでのあゆみを振り返りながら紐解きます。</p> <p><u>03 持続的な価値創造</u> 当社のサステナブルな価値創造について、高橋社長はじめ取締役が語ります。</p> <p><u>04 価値創造の原動力</u> 価値創造の原動力である製造資本、知的資本、人的資本のうち、特に注力している取組みについて、CxOや社外取締役、社員が登場し、様々な視点で説明します。</p> <p><u>05 経営基盤の強化</u> 経営基盤である、ガバナンスやステークホルダーとの関わり等について説明します。</p> <p><u>06 Data Section</u> 連結財務諸表、時系列財務・非財務データ、会社概要をまとめています。</p>

●環境・安全に関するより詳細な情報については、当社ウェブサイトのレスポンシブル・ケア(RC)活動欄に掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

レスポンシブル・ケア(RC)活動:

<https://www.khneochem.co.jp/sustainability/environment/rc/>

【KH ネオケムについて】※2023年12月末時点

社名	KHネオケム株式会社	
代表	代表取締役社長 高橋 理夫	
設立年	2010年12月(前身の協和油化は1966年11月設立)	
資本金	8,855百万円	
本社	東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号	
従業員数	連結831名	
事業内容	各種石油化学製品の研究・製造・販売	
主要製品群	機能性材料(冷凍機油原料・化粧品原料など) 電子材料(半導体およびフラットパネルディスプレイ用高純度溶剤など) 基礎化学品(塗料インキ用溶剤・プラスチック用可塑剤原料など)	
グループ会社	黒金化成株式会社／株式会社黒金ファインズ／KH Neochem Americas, Inc. ／晟化(上海)貿易有限公司	
沿革	1948年	協和産業(後の協和発酵工業)が、日本で初めて発酵法により、糖蜜からアセトン・ブタノールの大量生産を開始
	1949年	協和発酵工業設立(現:協和キリン)
	1966年	協和油化設立(協和発酵工業の化学品製造子会社)
	2004年	協和油化に協和発酵工業の化学品事業を統合し、協和発酵ケミカル発足
	2010年	協和発酵ケミカルの全株式の取得及び合併を目的としてケイジェイホールディングス設立
	2011年	協和発酵ケミカルが協和発酵キリングループから独立
		協和発酵ケミカルとケイジェイホールディングス合併
	2012年	協和発酵ケミカルからKHネオケムへ社名変更
	2016年	東京証券取引所市場第一部に上場
	2019年	本社を現住所に移転
		オープンイノベーション拠点 KH i-Labを開設
	2022年	東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、プライム市場へ移行

【本件についてのお問い合わせ先】

◆報道関係者からのお問い合わせ先

KHネオケム株式会社 広報・IR 部
TEL:03(3510)3579 FAX:03(3510)3571
東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号
<https://www.khneochem.co.jp/>